

当省の医療コンテナの活用促進に関する取り組み

第5回医療コンテナの活用促進に関する関係府省連絡調整会議

令和5年11月30日（木）

厚生労働省 医政局 地域医療計画課
災害等緊急時医療・周産期医療等対策室

目次

1. 医療コンテナ活用促進事業（令和5年度補正予算）
2. DMAT訓練における「災害時の医療コンテナ活用」検証
3. 「医療コンテナ保有状況調査」の中間報告

医療コンテナ活用促進事業（令和5年度補正予算）

令和5年度補正予算計上額

57百万円

事業概要

- ・ 災害時等の医療を確保するために、都道府県及び災害拠点病院が平時から医療コンテナを整備する費用(賃借料)を支援。
- ・ 医療コンテナの整備を希望する都道府県及び災害拠点病院の具体的な選定方法等詳細については、現在調整中。



DMAT訓練における「災害時の医療コンテナ活用」検証

訓練概要

実施日時: 令和5年9月30日(令和5年度「大規模地震時医療活動訓練」の一環として)

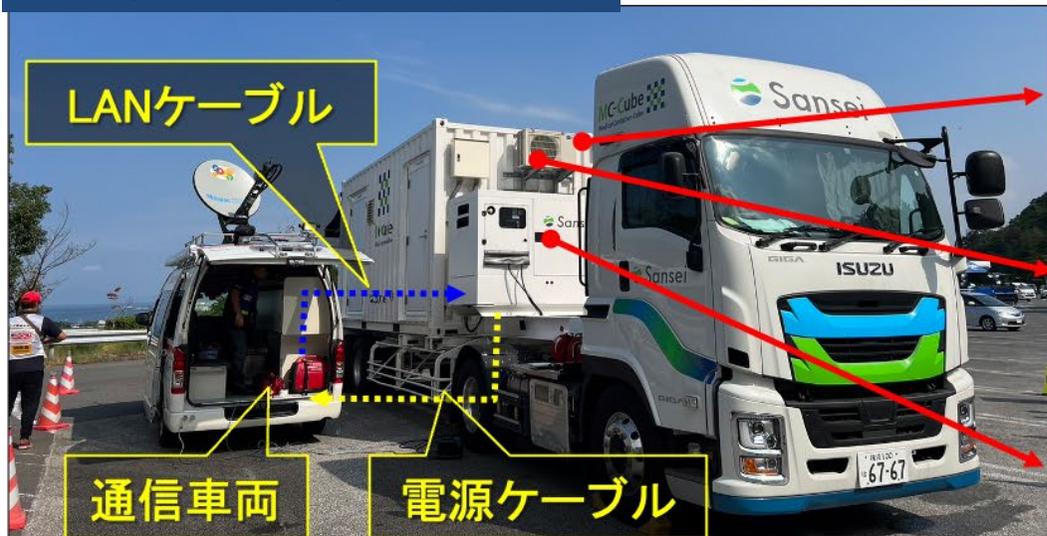
実施場所: 香川県(高松自動車道豊浜サービスエリア内)

実施目的: コンテナを実際に豊浜サービスエリアまで輸送し、DMAT参集拠点本部として使用することで、災害時に医療コンテナを使用する場合に必要な空調環境や通信環境、患者等の動線の確認・検証を行う

実施要員: 12名(統制員1名、検証員5名、視察者2名、業者4名)

使用資機材: 医療コンテナ1台、ドラッシュテント1張、通信車両1台

通信環境と空調環境の検証



患者等の動線の検証



検証訓練結果

発電機によりコンテナ内に**快適な空調環境を実現できた**他、通信車両にも**電源供給**することで**LANケーブル**による通信が構築できた。また、**受付から診療までの患者の動線も確認**できた。

「医療コンテナ保有状況調査」の中間報告

調査の目的

災害時に各都道府県に設置される災害対策本部や各医療機関等において、医療コンテナの活用を推進していくための基礎データの一つとして、各都道府県に管内における医療コンテナの保有状況等について調査を依頼。

中間報告

各都道府県管内で保有するコンテナ(総数:134台)の状況を以下に示す

1. 保有用途

	COVID-19対応	災害	その他
台数	125	6	3
(%)	93.3%	4.5%	2.2%

2. 保有主体

	地方自治体	病院	診療所	その他
台数	7	118	7	2
(%)	5.2%	88.1%	5.2%	1.5%

3. 稼働状況

	稼働中	稼働なし
台数	115	19
(%)	85.8%	14.2%

4. コンテナの型

	設置型	移動型	その他
台数	102	28	4
(%)	76.1%	20.9%	3.0%

5. 災害時の活用可否

	可能	不可
台数	59	75
(%)	44.0%	56.0%

6. 災害時における稼働実績

	あり	なし
台数	8	126
(%)	6.0%	94.0%